

# トータス 7人リレー初優勝

山川メモリアル7人リレー大会 2013年12月1日 滋賀県竜王町

チームメイトを応援する声  
が天高い空に響いた。

山川メモリアル7人リレー大会  
2013年12月1日 滋賀県竜王町  
希望ヶ丘文化公園 青年の城

## 結果 7人リレー

- 1 トータス亀 2:45:52  
石澤俊崇-小山温史-山田高志-宮川早穂-花木睦子-堀田遼-結城克哉
- 2 名相選抜 2:47:17  
渡仲祥太-嶋岡雅浩-堀江悟-近藤康満-守屋舞香-前田悠作-細川知希
- 3 OLCルーバーA 2:52:32  
古澤誠実朗-菅谷裕志-池陽平-落合志保子-水野日香里-松井健哉-谷川友太
- 4 朱雀OK-A 2:52:46  
入谷健元-宮本佳記-福井直樹-井手恵理子-加納尚子-寺村大-寺田啓介
- 5 東海A 2:54:53  
種市雅也-大久保雄真-二村真司-竹本拓-三浦一将-稲森剛-長谷川望
- 6 東大OLK選抜 2:56:10  
細淵晃平-福井悠太-石野夏幹-橋本知明-稲毛日菜子-深田恒-真保陽一

## 結果 ベテランリレー

- 1 京葉OLクラブB 1:40:24  
大塚友一-田中徹-斎藤和助-宮本知江子
- 2 ES関東C-B 1:42:37  
寺嶋一樹-広江淳良-宮川祐子-寺嶋真美江
- 3 千葉OLK-V 1:58:24  
大塚校市-石井龍男-鈴木栄一-鈴木正夫

## トータスが初優勝

勝負はアンカー対決に持ち込まれた。6走終了時点でトップに出た名相選抜7走の背中が辛うじて見える30秒差でトータスが追う。ここまで1位-2位をキープし続けた名相選抜がこのまま逃げ切るかと思われた。だがドラマは最後に起きた。全日本ロングのタイトルを持つトータス7走の結城克哉が先に会場に姿を現し、トータスを優勝へと導いた。細川と結城はコースパターンが違っておりこれも勝負に影響したかもしれない。

## 青年の城

今回のクラブ7人リレーで特徴的だったのは、若いパワーがレースをリ



7人リレーの第一走者のスタート風景。チームメイトに声援が飛び、紅葉に染まった晩秋の滋賀に集った多くのオリエンテリング愛好家たち。  
(撮影：上林氏)

どしたことだ。優勝したトータスメンバーも若い力が多いし、2位の名相選抜は学生のチームだ。5位の東海Aは高校生のチーム。6位となった東大OLK選抜も学生チームで途中までは1位を走っていた。そういえば会場施設の名称は「青年の城」。その名にふさわしいレース展開となった。1年半前に広島県のスコラ高原で行われたクラブ7人リレー大会で優勝した京葉OLCは今回10位にとどまった。

## ベテランの域

そんな青年の城で展開されたもうひとつのレースがベテランリレー。こちらは4人で行うリレーである。こちらは京葉OLクラブが優勝し、7人リレーで失ったカップをベテランリレーでキープした。2位のES関東と接戦をかわして得た勝利だ。

## 小春日和

12月に入ったものの、会場は小春日和の天気。広々とした芝生に陣取り、チームメイトに声援を送る姿があった。名簿上参加者は880名だが、複数回出走する者も多数いて参加者実数は700-800名の中間程度だろう。

難解なテレインとして知られる「青年の城」だが、主催者が思っていたより順調にレースが進行したようだ。リ

レーに合わせてコースの難易度や距離を調整した結果のようだ。

だが相変わらず失格者も多かった。リレーは7人すべてが正しくコースを回ってこそ結果が残る。間違ったコントロールを通過してしまうと7人分のリレー結果が残らない。

## 次回は高原キャンプ地で開催

2012年広島、2013年滋賀と西日本地区での開催が続いたクラブ7人リレーだが、2014年は関東中部圏に開催地が戻ってくる。2014年9月14日(日)に蓼科高原(長野県茅野市)で開催予定だ。9月中旬というまだまだ残暑の季節だが、標高1800mの蓼科高原はもう寒いくらいの秋。キャンプ場でのオリエンテリングシーズンインを楽しんでもらいたい。

(木村佳司)